

「徳島教育大綱」 ～4年間の検証～

徳島県教育委員会

本日の内容

◆4年間の取組

- 1 重点項目Ⅰ
未知への挑戦！未来を創る教育の推進
- 2 重点項目Ⅱ
夢と志を実現！確かな学びを育む教育の推進
- 3 重点項目Ⅲ
一人ひとりが輝く！多様性を育む教育の推進
- 4 重点項目Ⅳ
誰もがいきいき！生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進
- 5 重点項目Ⅴ
世界へ飛躍！「徳島ならではの」の文化・スポーツレガシーを
創出する教育の推進

◆教育を取り巻く今後の課題

I 未知への挑戦！未来を創る教育の推進

□ 高校の特色化・魅力化

- **スクール・ミッション、スクール・ポリシー**
 - ・多くの県に先んじてR3.6までに全ての公立高校で策定
- **ふるさと創生拠点ハイスクール推進事業**
 - ・海部高校で、SDGsを軸とした地域学習の実践
 - ・海陽町の魅力を海部高校生が動画で配信



地域と連携したビーチクリーン活動



海陽町のPR動画制作

□ 新次元の消費者教育の推進

- **全国に先駆けた消費者教育の取組**
 - ・県内全ての高等学校等で、消費者庁作成教材「社会への扉」の活用
 - ・県内の全公立高校に「エシカルクラブ」設置
- **全国大会「エシカル甲子園」の開催**
 - ・2021開催は「リアル×オンライン」のハイブリッド形式で実施



食品ロス削減メニューの考案



エシカル甲子園2021

□ 徳島モデルの小中一貫教育

- **チェーンスクール【9地域】**
 - ・教職員、児童生徒の学校間ネットワークを生かした取組等を推進
- **パッケージスクール【4地域】**
 - ・9年間を見通したカリキュラムや、地域一体化プログラムの作成・推進



鳴門市での取組広報誌(明神小、瀬戸中)

□ 本県発！デュアルスクール！

- **新しい学校のかたち「デュアルスクール」**
 - ・地方と都市の双方で教育を受けることができる
 - ・これまでに、12組の家族において計20回実施
- **「二地域居住」や「地方移住」を促進**
 - ・「区域外就学制度」の活用
 - ・PR動画、HPによる実施家族の新規開拓



一緒に授業を受ける子ども



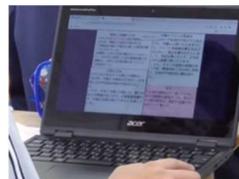
徳島の自然を体験

I 未知への挑戦！未来を創る教育の推進

□ 「徳島県GIGAスクール構想」の展開

令和2年度に**全学校へ導入**した、1人1台端末を積極的に活用し、平時、有事を問わず、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを推進

- **徳島県GIGAスクール構想推進本部**
 - ・学校における**事業の推進**及び**進捗管理**
- **GIGAスクール推進チーム**
 - ・各学校へ**教科指導等**に関して**指導助言**
- **GIGAスクール運営支援センター**
 - ・学校や家庭等でのICTトラブルへ対応



県内全児童・生徒に1人1台端末を配備



端末での課題共有



端末を活用した授業の様子

先端技術を活用し、教科の枠を超えた新たな学びを推進 (STEAM教育)

- **Edtech実証**
 - ・プログラミング教育など先端技術を活用した**先進事例創出**・普及
 - R3: 5校で実施
- **ビッグデータ活用**
 - ・データ分析による**課題の発見**及び**解決策を提案**する高校生ビッグデータ活用コンテストを開催
 - R3: 4校が参加



ドローンを使った学習(佐那河内中学校)

□ グローカル人財の育成(グローバル&ローカルな視点)

- **生きた英語を使う機会の提供**
 - ・小中高の**全ての英語学習段階**で英語イベントを実施
- **世界とつながる教育の場の創造**
 - ・海外の学校との学校間交流の推進(公立高11校が、延べ20校と姉妹校提携)
- **外国人とともに徳島の文化や産業を体験**
 - ・徳島の魅力を英語で世界に発信する力の育成



小学生と留学生との交流



コロナ禍での海外とのオンライン交流



高校生の英語漬けキャンプ

II 夢と志を実現！確かな学びを育む教育の推進

□「確かな学力」を育む、質の高い、深い学びの実現

□ 徳島『未来の学び』創造プロジェクト

➢ 学力向上実行プランに基づく学力向上の推進

- ・「学校訪問」の実施
- ・学力向上確認プリントを活用したPDCAサイクルの構築
- ・鳴門教育大学との連携による取組み

・学力向上に向けた授業改善が進展
 ・全国学力・学習状況調査結果の向上
 (小 H30 40 → 35 → 28 → R4 33)
 (中 H30 12 → 30 → 9 → R4 5)

□「主体的・対話的で深い学び」の実現

➢ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実

- 探究的な学習の充実
 - ・「課題の設定から解決まで」を子ども自らで実施
- 特別活動の充実
- 教員研修会の実施
 - ・授業づくり研修会



主体的・対話的で深い学びの実践

□ 6次産業化教育

➢ 「徳島のブランド」となる商品をプロデュース

- ・農工商設置高校による学校間連携・生徒間協働
- ・地域や産業界との連携強化
- ・阿波藍、ゆこうなどの地域資源を活用した、徳島ならではの「商品開発」



「阿波藍」クッキーの製造 (城西×科技×徳商)



徳島の特産「ゆこう」商品の販売 (小松島西×小松島西勝浦)

□ 大学との連携

➢ 高等教育機関との連携強化

- ・「高大連絡協議会」や「情報交換会」の実施 (R3: 計16回開催)

➢ 令和元年、阿南光高校に、

徳島大学「新野キャンパス」が誕生！

- ・高校生が大学の講義受講 & 共同研究



高大連絡協議会



徳島大学との「イシマササユリ」共同研究

II 夢と志を実現！確かな学びを育む教育の推進

□ 未来を切り拓く！「キャリア教育」の推進

➢ 徳島県キャリア教育推進指針Ⅱ (平成31年3月策定)

「かかわる力」「みつめる力」「すすむ力」「えがく力」の育成をめざし、発達段階に応じた多様な取組を展開

➢ 学校での学びと社会との関わりを意識した取組

- ・地域の企業等と連携した起業体験活動
- ・出前授業・職場体験・インターンシップの充実
- ・徳島ならではの「企業見学バスツアー」

➢ 多様なキャリアパスの普及

- ・校種間の接続を意識した「キャリア・パスポート」の活用
- ・大学生による「キャリアガイダンス」

コロナ禍においても
ニューノーマルな
手法で取組を推進！



起業体験活動の様子 (横瀬小)



企業見学バスツアー



大学生による
キャリアガイダンス

□ 主権者教育

➢ 主権者意識を高める機会の充実

- ・小・中・高校での「出前講座」、「模擬投票」の実施

➢ 高校生の社会参画力育成事業

- ・自治体等と連携し、課題解決に取り組む力を育成



高校生による
模擬投票
(那賀高校)



「政策提言書」
作成の取組
(鳴門高校、
鳴門渦潮高校)

□ 食育の推進

➢ 徳島県食育推進パワーアップ作戦

県内全ての公立小・中学校で展開



冬野菜の米粉シチュー



〈推進内容〉

- ・朝食の大切さ
- ・野菜の摂取・栄養バランス
- ・地産地消・地域の食文化
- ・食品ロス削減 等



栄養教諭による食育授業

学校給食における
地場産物活用割合

(R元) 62.8% → (R3) 66.3%

国産食材を活用する割合

(R元) 81.7% → (R3) 87.4%

□ 「35人以下」学級の実現

➢ 小学校の35人学級の実現

➢ 全国に先駆け中学校35人学級を導入

Ⅲ 一人ひとりが輝く！多様性を育む教育の推進

□ 切れ目ない支援体制の充実

- 「ポジティブな行動支援」実践校の拡大
 - ・県下の96%の幼稚園、小・中学校で実践
 - ・ポジティブな行動支援実践事例集Ⅰ、Ⅱを発刊
- 「とくしま特別支援学校技能検定」の実施
 - ・企業と協働し、技能甲子園、ゆめチャレを開催
 - ・特別支援学校の就職率45.8%



「ポジティブな行動支援」の取組
(北海道放送での特集報道)



とくしま特別支援学校技能検定
(介護)

- 文化・芸術、スポーツ分野における才能開花
 - ・「きらめきアート展」のリアルとWebでハイブリッド開催
(アクセス件数：30,876)
 - ・すべての特別支援学校でパラリンピック種目「ボッチャ」を実施



「きらめきアート展」



第1回特別支援学校ボッチャ大会開催

□ 教員の専門性の強化

- 特別支援教育に関する研修体制を構築
 - ・特別支援e-ラーニング10領域1065問
 - ・学校コンサルテーション等の138事例をHPに公開
 - ・特別支援教育「実践研究報告会」を毎年開催



徳島県の取組が書籍や
全国誌等に掲載



実践研究報告会の様子
(ポスター発表)

→特別支援学級に関わる教職員の専門性を強化！

□ いじめを防ぐ子どもたちの主体的取組

- 「いじめ防止子ども委員会」を県内公立小・中学校と特別支援学校小・中学部に設置



第1回徳島県いじめ問題
子どもサミット

- ・「第1回徳島県いじめ問題子どもサミット」の開催
(R3.12月、オンライン開催)
- ・ネット(SNS)いじめ問題について、13小・中学校の計50名が意見交換

□ SC・SSWの配置促進

- SCを全ての公立学校に配置・派遣
- SSWを24市町村教育委員会に配置

Ⅳ 誰もがいきいき！生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進

□ リカレント教育

□ 全国初！「県立夜間中学」「単独校」として『県立しらさぎ中学校』令和3年4月開校

- ・徳島ならではの「学び直しの拠点」
- ・義務教育未修了者、不登校経験者、外国籍の方等の個々のニーズに応える
- 徳島新聞賞「特別賞」受賞
- 県外の教育委員会等からの視察
- 「ダイバーシティとくしま」の実現へ！



- ライフステージに合わせて知識とスキルをアップデート
 - ・「まなびーあ徳島」での講座の展開
 - ・社会に役立つ資格・スキル取得促進
- 徳島の人づくり・つながりづくり・地域づくり
 - ・地域に貢献できる「社会教育人材」の養成
 - ・地域人材と連携した、若者の地域課題解決力向上



資格・スキル取得促進
(図書館サポーター養成講座)



「社会教育人材」の養成
(がんばるあなたのスキルアップ講座)



若者の地域課題解決力向上
(多世代参加型社会教育ワークショップ)

□ 防災教育の推進

- 発達段階に応じた防災教育の推進
 - ・「あわっ子防災チャレンジ」e-ラーニング実施者数
3,906人(R3累計)
- 「防災力の向上」
 - ・教員、中・高校生の防災士資格取得を支援
中学・高校生745人 教員126人(R3累計)
全県立学校へ防災資格を有する教職員を配置
 - ・防災クラブ全公立高校に設置、中学校へ拡大
高校34校(R4) 中学46校(R3)
地域と連携した防災ボランティア活動を推進



□ 働き方改革による質の高い学びの実現

- 教職員のスキルアップのための時間の創出
 - ・校務支援システムによる「業務の効率化」
 - ・ICT活用による「授業形態や手法の進化」
 - ・外部人材活用による「担当業務時間の確保」等
- 教職員の人生を豊かにするための時間の創出
 - ・出退勤管理システムによる「時間外在校等時間の把握」
 - ・部活動方針策定による「部活動の適正化」等



電子黒板による授業



部活動指導員

【時間外在校等時間】小学校：45h → 34h
(R2 → R3) 中学校：62h → 45h
県立学校：23h → 25h

V 世界へ飛躍！「徳島ならではの」の文化・スポーツレガシーを創出する教育の推進

□ 「未来のトップアスリート」の発掘、育成・強化

➢ 国際大会や全国大会等で活躍する
トップアスリートの育成・強化

- ・NEO徳島トップスポーツ校強化事業
- ・渦潮スポーツアカデミー推進事業
- ・中学校トップスポーツ競技育成事業
- ・あわスポーツ・ブルームング戦略事業



四国インターハイ開催 R4.7.23-8.23

全国から3700名の選手・役員を四国に迎え
3年ぶりに有観客で開催
51年ぶりとなる本県での総合開会式は
動画再生回数が2日間で約2万回



四国インターハイ 総合開会式

➢ 全国高校総体における本県選手の活躍

(H30) (R3)

入賞数 13(団体3・個人10) → 22(団体3・個人19)
ベスト16以上 22 → 48

着実な成果 → レガシーとして継承



城西高校ライフル射撃部

指定競技の1校集中
中学生の県外校への流出防止
新たな「お家芸競技」の育成

□ 文化芸術リーディングハイスクール

➢ スキルアップ講習の実施

- ・プロの芸術家や芸術系大学の教員と連携



名西高校フェスティバル

➢ 地域との交流、成果の還元

- ・名西高校フェスティバルの実施
- ・名西高校芸術サポーター制度
(音楽サポーター制度を令和元年度より
美術・書道にも拡充)



名西高校生による
中学生への技術指導

□ 「あわ文化」の創造・発信と郷土愛醸成

➢ 「あわっ子文化大使」の育成

- ・「あわ文化検定」合格者から、「あわっ子文化大使」を認定(R3:37名)
- ・あわっ子文化大使サポーター制度
高校生が後輩たちの活動をサポート
(R3:サポーター登録16名、計4回活動)



阿波人形浄瑠璃体験

➢ 次世代に繋げる「文化の担い手」の育成

- ・阿波人形浄瑠璃伝承教室の実施
これまで累計2,036名が参加

◆ 教育を取り巻く今後の課題

1 アフターコロナ時代を見据えた人財の育成 ～「令和の日本型教育の構築」に向けて～

- (1) 2025大阪・関西万博を見据えた取組みの推進
- (2) 「教育DX」のさらなる加速
- (3) 「教育GX」のさらなる深化
- (4) 成年年齢引下げへの取組みの強化

2 新時代の特別支援教育の構築

3 教員の働き方改革の推進

4 人権教育の推進

◆ 教育を取り巻く今後の課題

1 アフターコロナ時代を見据えた人財の育成 ～「令和の日本型教育の構築」に向けて～

(1) 2025大阪・関西万博を見据えた取組みの推進

- ・子どもたちの大阪・関西万博に向けた「機運醸成と参画促進」
- ・世界の方々とのふれあいから広がる「グローバル人財の育成」
- ・万博を介した未来の夢や希望の体感による子どもたちの「レガシー創造」



徳島県が万博に向けてオープンしたとくしまバーチャルパビリオン

(2) 「教育DX」のさらなる加速

- ・1人1台端末を活用した主体的・対話的で深い学びの実現
- ・AIやVRを活用した個別最適な学びやSTEAM教育の推進など、「教育への積極的な先端技術の活用」
- ・Society 5.0時代を生きるための「デジタル・シティズンシップ教育の推進」
- ・学習指導のデジタル化や校務へのICTの導入など、「教員の意識改革」



VRでのアバターによる授業イメージ

11

◆ 教育を取り巻く今後の課題

1 アフターコロナ時代を見据えた人財の育成 ～「令和の日本型教育の構築」に向けて～

(3) 「教育GX」のさらなる深化

- ・SDGsのさらなる機運醸成に向け、先進的な学習に取り組む「スーパーとくしまGXスクール」の推進による児童生徒の意識改革と行動変容の実現
- ・脱炭素社会実現に向け、「とくしまGXスクール」の全県展開をはじめとした「未来へつなぐ環境教育の推進」
- ・全国モデルの「消費者教育」のさらなる推進と深化



とくしまGXスクール認定校プレート

(4) 成年年齢引下げへの取組みの強化

- ・発達段階に応じたきめ細かな「主権者教育の充実・強化」
- ・関係機関と連携した出前講座などによる「主権者意識の高揚」
- ・「消費者教育」のさらなる推進



支援学校における選挙に関する基礎知識、投票体験

12

◆ 教育を取り巻く今後の課題

2 新時代の特別支援教育の構築

- ・ダイバーシティの全国モデルとなる「**国府支援学校の整備促進**」
- ・特別支援学校「**S D G s**」の実装
- ・特別支援学級等に関わる教職員の専門性強化



国府支援学校整備イメージ図

3 教員の働き方改革の推進

- ・教職員のワーク・ライフ・バランスの推進
- ・部活動の適正化
- ・外部人材の積極的活用



部活動指導員による指導



事務作業等の支援を行う
教員業務支援員
(スクール・サポート・スタッフ)

4 人権教育の推進

- ・いじめや自殺、インターネットによる人権侵害などの社会問題の解消に向けた人権教育の推進
- ・教職員への研修
- ・授業における教育活動
- ・地域への発信



「協力」「参加」「体験」を交えた教育活動の推進

ご清聴ありがとうございました